

令和 8 年度

総合型選抜 I 「へるん入試」

読解・表現力試験

注意

1. 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
2. 問題紙は 6 ページ，解答用紙は 2 枚です。指示があってから確認し，解答用紙の所定の欄に受験番号を記入してください。
3. 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入してください。
4. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
5. 試験終了後，問題紙は持ち帰ってください。

1 以下の文章を読み、問1～問5に答えなさい。

人間にとって、知識をもつこと、さまざまな事柄を知っているということが重要であるの
は言うまでもありません。しかし、そもそも、あることを「知っている」とはどういうこと
でしょうか。「知っている」という言葉があてはまる状況を成立させる条件を、三つに分け
て考えてみましょう。

ある事柄について、「○○である」と知っている、と言えるためには、まず、「○○である」
というように当人が思っている、信じている必要があります。「日本の首都は東京である」
と思っていない人は当然、日本の首都がどこであるかを「知っている」とは言えないからで
す。しかし、もちろん、私たちが思っていること、信じていることがすべて知識であるわけ
ではなく、その内容が事実と合致していなければ、「知っている」ことにはなりません。仮
に「地球外生命体が存在する」ということが事実でないとしたら、いくらそのように強く信
じていても、それは単なる信念であり、けっして知識とは言えないからです。

では、事実であることをそのとおりに信じていれば、それだけで、そのことを「知ってい
る」と言えるのでしょうか。たとえば、「この問題の正解は選択肢1だ」とあなたが思っ
ているとして、仮にそれが本当に正解であるとしましょう。しかし、「選択肢1が正解だ」と
あなたが思っているのが、鉛筆転がしをして1の数字が上になったからだとしたらどうで
しょうか。この場合、あなたの思っていることはたしかに事実と合致していますが、それは、
その問題をまっとうに解いたからではなく、単に偶然当たっていたにすぎません。したがっ
て、あなたは選択肢1が正解であることを「知っている」とは言えません。あることを「知
っている」と言えるためには、そのことを信じるに足る適切な理由、その信念を理にかなっ
たものにする理由がなければなりません。そのような理由のない信念は「不当」であり、
そのような理由のある信念は「(ア)」である、と言い換えてもよいでしょう。

(X)、「知っている」という言葉があてはまるためには、「事実をそのとおりに、しか
も適切な理由で信じている」という状況になっている必要があるように思われます。では逆
に、そのような状況であれば必ず、「知っている」という言葉があてはまるのでしょうか。
つまり、知識とは事実についての正当な信念にほかならない、とまとめてよいでしょうか。
さらに一歩進んで考えてみると、a そうではないことがわかります。たとえば、次のような
状況を想像してみてください。あなたが今いる教室の隅に、あなたの親友のAさんの姿が
はっきりと見えます。そこであなたは当然、「この教室にはAさんがいる」と信じます。あ
なたがいる場所からまぎれもなくAさんの姿が見えているのですから、これは上で述べた
意味で正当な信念です。このとき、あなたに見えている人が実はAさんではなく、たまた
まAさんにそっくりの、まったく無関係の別人だとしたら、あなたの信じている内容はも
ちろん事実ではありません。しかし、さらに、同じ教室の中のあなたから見えない位置に、
たまたまAさん本人もいたとしたら、そのときには、「この教室にはAさんがいる」という
あなたの信念は事実と合致します。

このような、めったにないが可能性としては起こりうる事例において、事実をそのとおりに、しかも適切な理由で信じている状況は成立しています。だからといって、あなたが「この教室には A さんがいる」ということを「知っている」とは言えないでしょう。あなたの信念が事実と合致しているのは（イ）にすぎないからです。以上の事例は、事実についての正当な信念をもっているだけではそれを「知っている」とは言えない、ということを示しています。「知っている」という言葉があてはまるためには、b 上で考えた三つの条件を満たすだけでは十分ではないのです。

では、何が足りなかったのでしょうか。あるいは、これまでの考え方のどこかに、根本的におかしなところがあったのでしょうか。「知っている」というごくありふれた日常的な言葉は、実はこのような厄介な謎を秘めたものなのです。

問1 (ア), (イ)に入る適切な語(いずれも漢字二字)を, それぞれ本文中から抜き出して書きなさい。

問2 (X)に入る適切な接続語を書きなさい。

問3 下線部 a のように筆者が主張するのはなぜか。その根拠を示した下記の文の空欄 (i), (ii)に入る適切な言葉を, 本文の第五段落中から抜き出してそれぞれ20字以内(句読点, かぎかっこを含む)で書きなさい。

(i)にもかかわらず(ii), ということがありうるから

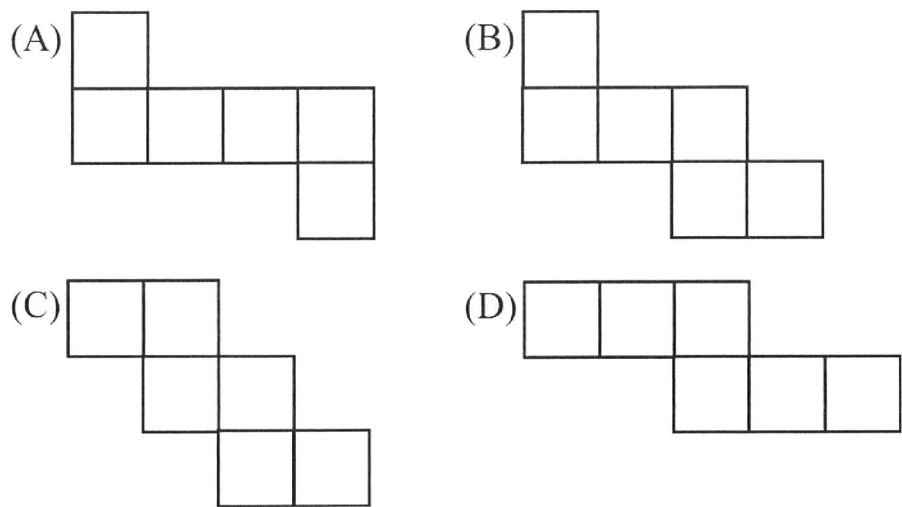
問4 下線部 b の「三つの条件」とは何か。本文中の言葉を用いてそれぞれ20字以内(句読点, かぎかっこを含む)で書きなさい。

問5 次の①～④について, 本文における筆者の考えと合致しているものに○を, 合致していないと言えないものに×を, それぞれつけなさい。

- ① 知識が成立するためには, 信念の内容が事実と合致していなければならない。
- ② あることを強く信じて生きているのであれば, その信念は当人にとっては正当である。
- ③ 正当な信念であっても, その内容が事実どおりであるとは限らない。
- ④ ごくたまたま成り立つような奇跡的な条件の重なりが, 知識を成立させることもある。

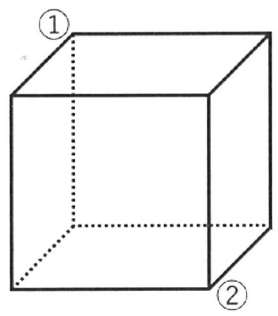
2 以下の文章を読み、問 1～問 5 に答えなさい。

展開図とは、立体図形を辺で切り開き、平面で表した図のことです。立方体の展開図は、11 種類あり、以下の (A) ～ (D) の 4 つの型に分類することができます。ここでは、展開図の縦方向の並びを列、横方向の並びを行とします。

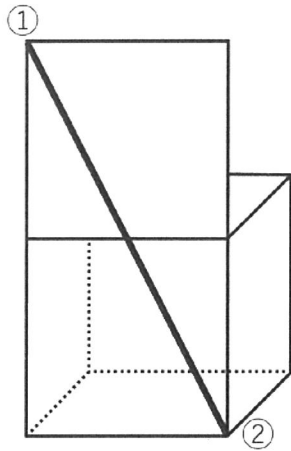


(A) は 1 行目に正方形が 1 つ、2 行目に 4 つ、3 行目に 1 つあるので 1-4-1 型、(B) は 1 行目に正方形が 1 つ、2 行目に 3 つ、3 行目に 2 つあるので 1-3-2 型とよびます。また、(C) のような (ア) があります。(A) ～ (C) では、立方体の展開図となるためには、4 列が存在することが決まります。さらに、(D) のような 3-3 型もあります。ただし、3-3 型は (D) しか立方体の展開図になりません。

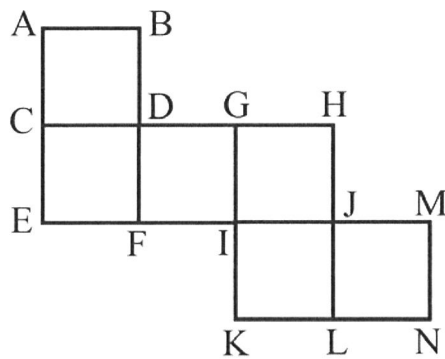
次に、展開図を組み立てて立方体を作るとき、ある頂点がどの頂点と重なるか、調べてみましょう。このとき、ある法則を利用すると、容易に求めることができます。まず、下のよ様な立方体の見取り図を考えます。



頂点①に注目すると、この点から最も遠い点は頂点②になります。そこで、この見取り図の上面を広げ、頂点①と頂点②を直線で結んでみます。



すると、「立方体の最も遠い2点は、展開図では2つの正方形からなる長方形の対角線の位置にくる」ことがわかります。このことを利用して、下図の展開図を組み立てたとき、頂点Aはどの頂点と重なるか、求めてみましょう。



まず、頂点Aから最も遠い頂点は、(イ)と求めることができます。続けて、(イ)から最も遠い頂点は、頂点Aと(ウ)となります。したがって、この展開図を組み立てたとき、頂点Aは(ウ)と重なります。

問1 (ア)に入る適切な展開図の型を書きなさい。

問2 1-3-2型であっても、立方体の展開図とならないものがある。その図を一つ書きなさい。また、その図が立方体の展開図とならない理由を、展開図の決まりをもとに、20字以内(句読点を含む)で書きなさい。

問3 (イ)、(ウ)に入る適切な語を、それぞれ書きなさい。

問4 立方体の展開図で、ある頂点から最も遠い頂点を求め、さらにその頂点から最も遠い頂点を求めると、展開図を組み立てたとき、ある頂点と重なる頂点がある。その理由を、30字以内(句読点を含む)で書きなさい。

問5 次の①~④について、本文の内容と合致しているものに○を、合致していないものに×を、それぞれつけなさい。

- ① 展開図とは、立体図形を面で切り開き平面で表した図のことである。
- ② 立方体の展開図には、どの型にも複数の種類がある。
- ③ 立方体の展開図となるためには、展開図には4行が存在することが必要である。
- ④ 展開図を組み立てて立方体を作るとき、ある頂点がどの頂点と重なるかを求めることは難しい。